

# 小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和7年1月31日 第10号  
小笠原村立小笠原中学校  
校長 椎橋 秀行

学校ホームページ

<https://www.ogachu.ogasawara.ed.jp>



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



## 「速い」ではなく、「強い」

副校長 武田 悠

先日、気持ちのいい青空の下、小笠原ロードレース大会が行われました。当日はお忙しい中、たくさんの地域・保護者の皆様が沿道にかけつけてくださり、ゴールを目指しひたむきに走る生徒に温かい声援や大きな拍手を送っていただきました。生徒の背中を押す力強い支えになったことと思います。心より感謝申し上げます。

一人一人の走る姿を目にしなが、昔読んだ小説を思い出しました。三浦しをんさんの「風が強く吹いている」です。本作は、長距離未経験の部員を含めた無名大学が、たった1年で「箱根駅伝」を目指し、ついに出場を果たしてしまうという物語です。現実的に考えると無理のある設定という声もありますが、登場人物個々の努力には説得力があります。しかし本作は、必要以上に努力を美しいものと賛美はしていません。努力は苦しさを伴うものであり、その苦しきから葛藤が生まれ、仲間たちとの衝突も発生します。挫折も、越えることができない壁や限界も、容赦なく突き付けているのです。そんな登場人物たちが徐々に走ることに真摯に向き合い、それぞれが答えを見つけていきます。1本のタスキを仲間たちとつなぎ、その中で生まれる絆や感情に、私は胸を熱くし、自然と応援したくなりました。



物語の中心となるのは2人の主人公、4年生清瀬灰二（ハイジ）と1年生蔵原走（カケル）です。ハイジはカケルを箱根駅伝に出場させることにした張本人で、走ることの強さについて独自の理論を持っており、そのセリフも印象的です。

ハイジ「長距離選手に対する、一番の褒め言葉がなにかわかるか」

カケル「速い、ですか？」

ハイジ「いいや、『強い』だよ」

（「風が強く吹いている」文庫版 P.207）

速さだけでは、長い距離を戦いぬくことはできません。天候、コース、レース展開、体調、自分の精神状態。そうしたいろいろな要素を、冷静に分析し、苦しい局面でも粘って体を前に運びつづける。長距離選手に必要なのは、本当の意味での「強さ」だとハイジは語っています。作者である三浦しをんさんも本作で「できる、できないという基準ではない価値を築けるかどうかを、小説を通じて考えてみたかった。」と述べています。そうした視点で考えると、4km、6kmの道のりに自分なりの目標をもって粘り強く挑んだ生徒たちは、本当に「強い」と思うとともに、誇りに感じました。

誰の人生にも、苦しい場面は幾度となく訪れます。心が折れそうになることもあるかもしれません。しかし、次のハイジの言葉のように、現状を受け止め、今の自分にできることに精一杯取り組む強さを、これからも一人ひとりが磨いていってほしいと思います。

「過去や評判が走るんじゃない。いまのきみ自身が走るんだ。惑わされるな。振り向くな。もっと強くなれ。」



1月19日(日)に第52回小笠原ロードレース大会が開催されました。当日、女子は4km、男子は6kmを走りました。その懸命に走る姿や仲間を応援する姿がとても印象的でした。この期間、保健体育の授業でも持久走単元を実施しました。仲間と協力し、『自分が心地よく感じるができるペース』を様々な方法から探っていきました。また、ラップタイムも取ることにより、『理想型』を目指して走ることで自分の走りについて、呼吸やフォーム、リズムなどを意識して取り組んでいたと思います。

今年度の授業では、ペースや走りのリズム、呼吸などを考えて走っていたこと、そして次の授業でより意識することを明確にして、授業に臨んでいた生徒が多くいたと感じました。『前回のペースでは、後半どうしても落ちてしまうから2秒ほどペースを落として走ってみます。』や『自分の感覚だときついですが、脈拍は150くらいなので、少しペースを上げてみようと思います。』、『前回のペースがちょうどよかったのと、理想曲線を描くことができたので、今回もペースは一緒に最初の入りとラストスパートを少し上げるように走ってみます。』といったことを考えて授業に臨んでくれていると思うと、とても嬉しく感じました。このロードレース大会に向けて授業を始め各個人が準備をして臨んだと感じます。苦手なことでもペースと自分の体のこと(脈拍や呼吸等)を知り、一定期間継続していくと力がついてきます。各々が経験したことを今後の学校生活に活かしてください。みなさん、よく走りました!最後に生徒の感想です。

- 『今回のロードレースや持久走をしてきて、上半身の使い方が大切だと感じました。持久走の時に意識したのは、腕の振り姿勢です。腕を大きく振ることや少し前傾の姿勢をすることによって、前への推進力が生まれます。このように上半身をうまく使えば楽にスピードをつけたりできることがわかりました。』
- 『今回の単元で初めてセカンドウインド(走り続けてしばらくすると体が慣れてきて楽に感じることを)を体験することができた。走っている時に少し楽になって驚いた。』
- 『最初に走った時から少しずつタイムが速くなっていました。姿勢と呼吸を意識して走りました。練習ではラップ表がおわん型になるように、始めと終わりのスピードをあげられるようにしました。ロードレース本番で1位をとれて嬉しかったです。』
- 『日々の授業もそうだけれど、特に駅伝大会の時に、最後の方ペースが落ちちゃった時に仲間がずっと応援してくれたので、最後まで出し切れた。どんなことでも応援とか励ましは大切だと思えた。』
- 『去年よりも走り方、ペースを考えながら走ることができたので、タイムも短くなって走り甲斐があった。来年は実際のコースを練習して本番に対策していこうと思います。』
- 『僕は1回目の授業で3周目くらいからきつくなってしまう、諦めて思うようなタイムを出すことができませんでした。しかし、練習することできつなくても簡単に諦めないようになり、ロードレース大会本番では中学生で8位になることができ、駅伝大会でもアンカーを任されて優勝できました。これからも簡単に諦めずに物事に取り組んでいきたいです。』
- 『最初は校庭5周すら走りきれなかったけれど、外で走って練習をしたり、学校の授業で走ったりしてタイムは遅いけれど本番4km走りきることでよかったです。来年も今年の授業で学んだ背筋を伸ばして、腕をよく振って走ることや呼吸のリズムを一定にするということ覚えておいて、次に活かしたいです。走り切れるように今から少しでも練習をしておきたいなと思いました。』

## 第1学年 夜明山戦跡調査

1学年

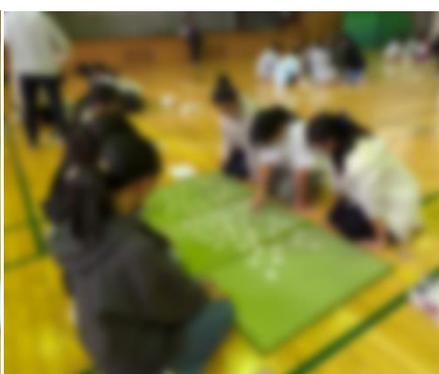
来年度の硫黄島訪島事業に向けて、1月16日(木)に事前の講義、1月17日(金)に夜明山の戦跡調査に向かいました。ガイドを依頼させていただいたのは、「板長」さんと田中善八さんです。島に眠る戦跡や、実際に使われた武器を見たり実際に触れたりしながら、戦時中の人々や、小笠原に思いを馳せる時間となりました。調査の午後には学校に戻り、2日間で感じたことを川柳の作品に仕上げました。今回感じたことを忘れずに、来年度の硫黄島訪島事業に繋げていきたいと思っています。



## 百人一首大会

国語科

1月10日(金)に全校で百人一首大会を行いました。2学期からの練習、また、冬休み中の自主練習の成果を発揮している姿が印象的でした。2、3年生は前年度からの成長を感じることができ、1年生も先輩に負けじと奮闘していました。全学年で行う行事もだんだんと少なくなっていきます。仲間や先輩たちとの関わりを大切にする意識をもって過ごしてくれることを期待しています。また、今年度も、今後義務教育学校になることを見据えた小中連携の取組として、1月9日(木)に小笠原小学校6年生と本校1年生とでも百人一首を行いました。中学校の先輩として当日の準備片付けなどの場面で積極的に活動する姿が見られました。少しずつ先輩としての自覚をもって学校生活に取り組んでいってほしいと思います。



## 小6部活動体験

生活指導主任

1月14日~17日の日程で、小学校6年生向けの部活動体験を行いました。迎え入れる側の中学生たちは部活動について丁寧に説明し、一緒に活動することを楽しんでいるようでした。また、先輩としての自覚も深まり、進級に向けて成長を感じることができました。新年度になっても仮入部期間があるので、そこでの中学生の活躍にも期待しています。



## 小中高合同地域学校保健委員会

養護教諭

1月15日(水)小中高合同地域学校保健委員会講演会を開催いたしました。今年度は、島しょ保健所小笠原出張所 栄養士高部海音様、小笠原村医療課 栄養士山本美空様に「小中高生における食事の重要性について～栄養バランス・食習慣の観点から～」のテーマでご講演いただきました。

成長期の子供たちにとっての食事の重要ポイント3項目、①食事は常に、日常生活の中心にあること。②小中高生(成長期)の食事内容は、現状のみでなく、将来の健康状態に大きく影響すること。③子どもの頃の食に対する認知が、そのまま将来の食行動へ影響することを、資料を基に分かりやすくお話しいただきました。

また、バランスの良い食事の「バランス」とは、五大栄養素(炭水化物、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラル)をまんべんなくとることが大事なことで、それぞれの役割(エネルギー源となる、体の構成成分となる、体の機能を調整する)が私たちの体を作り、機能を調整してくれていることも、改めてわかりやすく説明をしていただきました。

「栄養バランスに気をつけた食事について子供に伝えたい。」  
「補食や代替案、冷凍野菜の効率的な活用についてなど参考になった。」  
などの感想がありました。

保護者の皆様、地域の皆様、ご参加いただきありがとうございました。



## 福祉委員会赤い羽根共同募金活動

担当

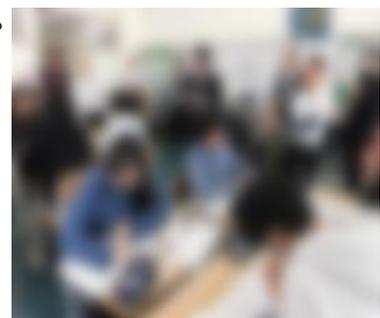
1月22日、23日に赤い羽根共同募金の活動を行いました。今年度は中学校だけでなく、街頭にも出向いて募金活動を行いました。福祉委員以外にもボランティアで参加をしてくれました。「赤い羽根共同募金にご協力お願いします…」最初は小さい声で、呼びかけていましたが島民の皆様が明るく声をかけてくださり、徐々に大きな声で呼びかけができるようになっていました。終わるときには生徒も笑顔になっていました。これからも自分たちにできることをコツコツ積み重ねていきたいと思えます。ご協力ありがとうございました。



## 校内研究授業

研究主任

小笠原中学校では授業力・指導力向上のための研究を実施しています。令和6年度は「コミュニケーション能力の育成を目指して」と題して道徳の研究を行っています。1月23日(木)と24日(金)に行われた研究授業では、外部から講師を招いて授業を見ていただき、授業後には全教員で授業内容についての話し合いや質疑応答を行いました。1か月以上前から授業の計画をし、事前に学年で話し合い、当日に向けて準備をするため、本当に大変ではありますが、その分の収穫はあったと思えます。



また、これ以外にも各学年年間35回ある道徳の授業すべてにおいて、担当の教員が授業を計画し、各学年会で内容の検討を行っています。授業は「これが正解!」という1つの答えがあるものではないため、日々試行錯誤しながら、より良い授業になるように研究を続けていきます。

## 今年度の作品展について

### 美術科

本校では、1年間の学習の成果を発表する場として、作品展示会を行っています。美術科からも、1年間の作品の中から1年生は「絵文字」、2年生は「季節感を表現した和菓子」、3年生は「私は印象派」の作品を出品いたします。「絵文字」は漢字1字を変形させたり、何かを加えたりして、その漢字の意味を面白く、豊かなイメージで表現し、アクリルガッシュで着色した作品になります。「季節感を表現した和菓子」は、それぞれが決めた季節の特徴をとらえ、モチーフを選び、様々な素材を使って作った立体作品と、その説明をしているPOPになります。「印象派」は、19世紀にフランスで起こった芸術活動ですが、固有色にとらわれず、自分のフィルターを通して見た世界を表現し、絵画の役割を世の中に問題提起した芸術運動です。3年生「私は印象派」では、受験や卒業を前にした思春期の揺れ動く世界を、自分の色と形で表現しました。お時間がございましたら、ぜひとも生徒の作品を見ていただきたく、学校に足を運んでいただけたらと思います。期間は令和7年2月12日(水)～15日(土)となります。詳しい時間は、学校公開のお知らせをご覧ください。

また、今年度の東京都公立学校美術展覧会へは、3年生の富田みのりさんと、佐藤うららさんの作品を出品いたします。東京都立美術館において、令和7年2月14日(金)～19日(水)(最終日は午前中のみ開催)に開催されます。お近くにいらした際は、ぜひともご覧いただけますと幸いです。



さん 「星屑」

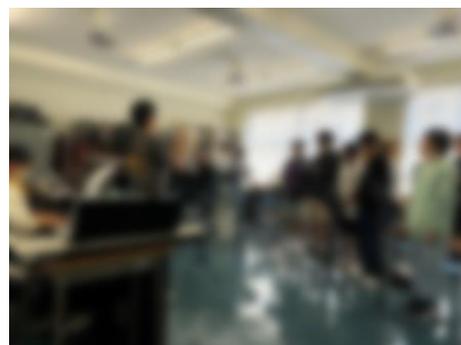


さん 「月と林檎」

## 音楽科授業紹介

音楽の授業では1月27日に、音楽発表会に向けた学年合唱の進捗状況を聴かせ合う、「聴かせ合い会」がありました。そこでの発表に向けて、吹奏楽は一度温め、1月は合唱を集中的に練習してきました。パートリーダーを中心に、自分たちで練習を進める様子は頼もしいです。3月の音楽発表会では、3年生「正解」、2年生「大切なもの」、1年生「明日へ」を演奏します。当日は温かい心で聞いていただければと思います。よろしく願いいたします。

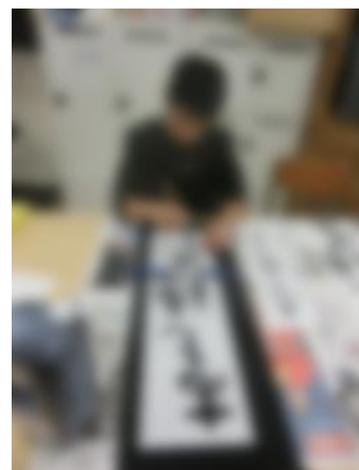
### 音楽科



## 2組授業紹介

2組(知的固定学級)では、国語の授業で、書初めを行いました。毎年この時期に書初めを行っています。3年目になると、字のバランス、筆の使い方がかなり上手になり、集中して取り組めていました。今年は、補助の折り目や線も使わず、お手本を見て、自分でバランスを考えながら書いていました。出来上がった作品は、生徒の個性あふれる味のある作品となりました。3年間の成長が見られる書初めとなりました。作品展示会の際に展示されるので、ぜひご覧ください。

### 担任



# 人権作文コンクール

中学生の人権意識向上を図るため、今年も「小笠原村人権作文コンテスト」が実施され、小笠原中学校からは2名の生徒が入賞しました。

**最優秀賞 2年**

**優秀賞 1年**

(敬称略)

なお、全国中学生人権作文コンテスト東京都大会へ推薦の結果、

さんの作文は「作文委員会賞」を受賞しました。おめでとうございます。



## 2月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
					1 出	2
3 生徒会朝礼 6時間授業	4 安全指導 新入生説明会 自転車安全点検	5 入 避難訓練	6 食育講話	7 5時間授業 (母島小中学校 研究発表のため)	8 出	9
10 展示準備	11 入 建国記念の日 1年生学年レク	12 学校公開・展示始 1・2年テスト計画	13 部活動中止 (小中高会議のため) お弁当の日	14 出 地域懇談会	15 学校公開・展示終 土曜授業日 道徳授業地区公開講座	16 漢字検定
17 入 学校朝礼	18 部活動中止(27日 まで)	19	20 出	21 都立高校一次 入学選抜試験	22	23 入 天皇誕生日
24 振替休日	25 学年末考査	26 出 学年末考査	27 学年末考査	28 各種委員会 中央委員会		

### 3月の主な予定

- ・3月 2日(日) …英検2次
- ・3月 3日(月) …都立一次合格発表
- ・3月 4日(火) …補食給食
- ・3月 5日(水) …海洋調査事前講義
- ・3月 6日(木) …食育講話 海洋調査(1・3年生)
- ・3月 7日(金) …海洋調査事後学習・音楽発表会準備
- ・3月 8日(土) …音楽発表会(6時間授業)
- ・3月10日(月) …振替休業日
- ・3月11日(火) …テスト反省(1・2年生) ゲートボール交流会(3年生)
- ・3月12日(水) …保護者会(1・2年生) お弁当の日
- ・3月13日(木) …スポーツフェスティバル 3年生を送る会
- ・3月14日(金) …卒業式予行
- ・3月17日(月) …海洋調査予備日
- ・3月18日(火) …卒業式準備
- ・3月19日(水) …卒業式
- ・3月21日(金) …郷土講座
- ・3月24日(月) …大掃除
- ・3月25日(火) …全体学活 修了式 離任式
- ・3月26日(水) …春季休業日始
- ・3月30日(日) …見送り式

おらせ

と

おねがい

### 道徳授業地区公開講座・意見交換会について

2月15日(土)は道徳授業地区公開講座を実施します。3校時(10時20分~11時10分)に各学年の授業、4校時(11時20分~12時05分)に小中合同で意見交換会を行います。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

### 3月7日(金) 音楽発表会リハーサル公開について

3月8日(土)に音楽発表会が予定されていますが、おがさわら丸の入港日と重なってしまったため、前日3月7日(金)(13時30分~15時頃の予定)に行われるリハーサルも公開いたします。当日ご都合がつかない保護者・地域の皆様はぜひお越しいただければと思います。詳細については、後日配付いたします案内をご確認ください。よろしく願いいたします。